

## 令和2年度の事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

法人名 特定非営利活動法人

ひろしまチャイルドライン子どもステーション

### 1 事業の成果

以下の事業を実施した。

- ・毎週月、金、土曜日（広島会場）木曜日（福山会場）、月3回水曜日（東広島会場）、日曜日月1回16時～21時、全国統一フリーダイヤルと県内限定特設ダイヤルで開設し、「チャイルドライン事業」を実施した。全国統一フリーダイヤルは、7021件、県内限定特設ダイヤルでは255件の電話を受けた。オンラインチャット相談を月1回定期開設し、248件対応した。
- ・受け手ボランティア養成講座を広島市、福山市の2か所で開催し、17名の受け手が誕生した。
- ・現受け手、支え手の継続研修をアドバイザーを交えて実施した。
- ・コロナウイルス感染拡大防止のため20周年記念パーティーは中止、20周年記念講演会&シンポジウムは延期、報告会&コンサートは中止した。20周年記念誌に掲載する「座談会」は大窪シゲキさんと高校生、修道大学生（大学生はオンライン）で開催した。
- ・子どもたちには、カードを配布し、チャイルドラインの電話番号を知らせた。大人には、報告書、通信、リーフレットを配布した。

### 2 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：千円)
① 日常的に「子どもの声」を聴く事業	18歳までの子どもの話を電話で聴く。(フリーダイヤル)	(A) 月、木、金、土曜日、月3回水、月1回日曜日 16時～21時 (B) 広島市、福山市、東広島市 (C) 50名	(D) 18歳までの子ども (E) 中四国エリアの子ども 55万人	1,641

	カード作成、配布	(A) 年間 (B) 広島県内 (C) 15名	を対象 (D) 県内の 子ども (E) 子ども 35万人	559
② 「子ども 電話」の 運営スタ ッフや電 話の受け 手など 「子ども 電話」に 携わる人 材育成の ための研 修事業	受け手ボランティア養成講 座 (14 講座)	(A) 7月～11月 (B) 広島市 (C) 4名	(D) 広島市 周辺の市民 (E) 11名	252
	受け手ボランティア養成講 座 (14 講座)	(A) 1月～3月 (B) 福山市 (C) 5名	(D) 福山市 周辺の市民 (E) 9名	190
	受け手。支え手継続研修	(A) 年間 (B) 広島市、福 山市、東広島市 (C) 15名	(D) 受け手 支え手 (E) 50名	240
③ 「子ども 電話」へ	20周年記念講演会&シン ポジウム	コロナウイルス 感染防止のため 延期		0

<p>の社会的 認知を高 める事業</p>	<p>報告会&amp;コンサート (チラシ印刷代、送料)</p> <p>リーフレット、 報告書作成、配布 ホームページ管理費</p> <p>20周年事業費 報告書掲載の座談会開催</p>	<p>コロナウイルス のため中止</p> <p>(A) 年間 (B) 広島県内 (C) 10人</p> <p>(A) 9月27日 (B) 広島市 (C) 15人</p>	<p>(D) 県内の 子ども、市民 (E) 子ども 大人多数</p> <p>(D) 県内外 の市民 (E) 5000部 発行予定</p>	<p>3</p> <p>217</p> <p>188</p>
-------------------------------	---	--	--	--------------------------------

(2) その他の事業は実施しなかった。

令和2年度 活動計算書  
2年4月1日 から 3年3月31日まで

特定非営利活動法人 ひろしまチャイルドライン子どもステーション(単位:円)

科 目		金 額	
		(小計)	(総計)
<b>I 経常収益</b>			
1 受取会費			
正会員受取会費	270,000		
活動会員受取会費	195,000		
支援会員受取会費	272,000	737,000	
2 受取寄付金			
受取寄付金	1,492,915		
FD電話代受入評価益	321,783		
施設等受入評価益	2,830	1,817,528	
3 受取助成金			
受取民間助成金	1,185,850		
広島市補助金	300,000		
三次市委託金	180,000	1,665,850	
4 事業収益			
チャイルドライン事業	20,983		
研修事業	419,500		
社会的認知を高める事業	500	440,983	
5 その他収益			
雑収入	15	15	
経常収益計			4,661,376
<b>II 経常費用</b>			
1 事業費			
(1)人件費			
人件費計		0	
(2)その他経費			
諸謝金	420,344		
旅費交通費	107,699		
印刷製本	62,780		
電話代	330,282		
FD電話代受入評価費用	321,783		
施設等受入評価益	2,830		
家賃	971,220		
保険料	17,900		
会場費	129,140		
講師宿泊、食事代	9,470		
宣材費	716,695		
資料代	8,580		
雑費	3,542		
20周年事業費	187,583		
その他経費計		3,289,848	
事業費計			3,289,848
2 管理費			
(1)人件費			
人件費計		0	
(2)その他経費			
行動費	32,000		
通信費	324,969		
事務用品費	59,076		
水道光熱費	123,023		
印刷費	139,494		
会議費	3,220		
対外拠出金	26,000		
設備費	103,820		
減価償却費	73,153		
雑費	21,753		
その他経費計		906,508	
管理費計			906,508
経常費用計			4,196,356
当期経常増減額			465,020
<b>III 経常外収益</b>			
経常外収益計			0
<b>IV 経常外費用</b>			
経常外費用計			0
当期正味財産増減額			465,020
前期繰越正味財産			1,415,193
次期繰越正味財産額			1,880,213

今年度は、その他の事業を実施していません。

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日1部改正 NPO法人会計基準協会)によっています。

計算書類の注記

1、重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日、2011年11月20日一部改正NPO法人会計基準協議会)によっています。

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却しています。

用途が制約されている寄付

用途等が制約された寄附金等の内訳(正味財産の増減及び残高の状況)は以下の通りです。

当法人の正味財産は1,880,213円ですが、そのうち1,221,807円は、下記のように用途が特定されています。したがって用途が制約されていない正味財産は658,406円です。

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
20周年記念事業	1,409,390	0	187,583	1,221,807	翌期に使用予定
合計	1,409,390	0	187,583	1,221,807	の支援用資金

事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです。(単位:円)

部門	チャイルドライン事業	研修事業	社会的認知を高める事業	事業部門計
II 経営費用				
(1)人件費	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0
(2)その他の経費				
諸謝金	0	420,344	0	420,344
旅費交通費	0	107,699	0	107,699
印刷製本	0	0	62,780	62,780
電話代	330,282	0	0	330,282
FD電話代受け入れ評価費用	321,783	0	0	321,783
施設等受入評価費用	0	2,830	0	2,830
家賃	971,220	0	0	971,220
保険料	17,900	0	0	17,900
会場費	0	129,140	0	129,140
講師宿泊、食事代	0	9,470	0	9,470
宣材費	559,265	0	157,430	716,695
資料代	0	8,580	0	8,580
雑費	0	3,542	0	3,542
20周年事業	0	0	187,583	187,583
その他経費計	2,200,450	681,605	407,793	3,289,848
経常経費計	2,200,450	681,605	407,793	3,289,848

固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価格
有形固定資産 備品(パソコン)	220,320	0	—	220,320	176,428	43,892
合計	220,320	0	—	220,320	176,428	43,892

施設の提供等の物的サービスの受入れ内訳

内容	金額	算定方式
チャイルドライン フリーダイヤル電話代	321,783	広島が受信した電話代を、NTTから支援センターへ請求があり、支援センターが支払った金額。
新人研修会場費	2,830	下見福祉会館使用料が半額減免

令和2年度貸借対照表

令和3年3月31日現在

特定非営利活動法人 ひろしまチャイルドライン子どもステーション

科目・摘要	金額		
<b>I 資産の部</b> 1 流動資産 現金預金 未収入金 前払金  流動資産合計 2 固定資産 什器備品  固定資産合計  資産合計	1,778,334 80,000 10,000	   1,868,334	       1,912,226
<b>II 負債の部</b> 1 流動負債 未払金 預り金  流動負債合計 2 固定負債 長期借入金 固定負債合計 負債合計	22,452 9,561	   32,013	       32,013
<b>III 正味財産の部</b> 前期繰越正味財産額 当期正味財産増加額  正味財産合計	   	1,415,193 465,020	   1,880,213
負債及び正味財産合計			1,912,226

令和2年度 財産目録

令和3年3月31日現在

特定非営利活動法人ひろしまチャイルドライン子どもステーション

(単位:円)

科 目		金 額	
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金			
手元現金		40,232	
普通預金	広島銀行己斐支店	146,143	
	広島銀行己斐支店	2	
	広島銀行己斐支店	1,300,035	
郵便貯金	通常貯金	33,719	
	郵便振替	480	
	郵便振替	257,723	
前払金	福山会場家賃	10,000	
未収入金	三次委託金他	80,000	
	流動資産合計		1,868,334
2 固定資産			
	什器備品	43,892	
	固定資産合計		43,892
	資産合計		1,912,226
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	電話代等	22,452	
預り金	源泉税	9,561	
	流動負債合計		32,013
2 固定負債			
	固定負債合計		0
	負債合計		32,013
	正味財産		1,880,213

この写しは、原本と相違ないことを証明する。

令和3年5月30日

特定非営利活動法人

ひろしまチャイルドライン子どもステーション

理事長 上野和子